

ランドセルの色は

校長 齋藤 恵

私には2歳年上の兄がいます。子供の頃、両親は二人が喧嘩しないようにとよく二人分のお土産を買ってきてくれました。お土産の中身はあまり記憶にないのですが、赤いリボンと青いリボンがついたお菓子や、ちょっとした玩具だったと思います。

そんな時、私たちは大概、兄が赤い方、私が青い方を選ぶのです。両親からすれば、男の子は青、女の子は赤、というつもりだったと思うので、がっかりしたかもしれません。ですが、大人になった今でも、兄は好んでピンクのシャツや赤いTシャツを着ますし、私が選ぶ服は紺色や青のものが圧倒的に多いのです。

私の小学生時代、ランドセルの色は男子が黒、女子が赤、が定番でした。しかし、現在は色とりどりです。色だけでなく、形や刺しゅうも様々で、子供たちは自分のお気に入りのランドセルを背負っています。

また、こんな経験もあります。左利きの私は、子供の頃、旅行先で食事をしている時に、見知らぬ人から「あら、この子は左ぎっちょだよ。親の教育がなっていないね。」と言われました。子供心に何だか親に申し訳ない気持ちになったことを今でも覚えています。その後、書道を習って文字は右で書くようになりました。今なら、左利きであることは珍しいことでもなく、スポーツの場面では「サウスポー」として有利な場合があるので、変えなくてもよかったかな、と思います。

今は、多様性の時代です。「こうでなくてはならない」「みんな同じにする」という考え方はなくなってきました。違いがあることは当たり前なのです。性別や国籍、年齢、宗教、文化、価値観、高齢者、障害者など、多様な背景を背負った人々の人権が尊重され、互いに助け合って共存することができる社会を目指していかなければなりません。多様性は、「ダイバーシティ」という言葉に置き換えられることがあります。ビジネスの世界では、多様な人材の多様な働き方を認め、活用することをいいます。多様な人材の様々なアイデアや経験を活かすことで、新しいものを生み出すことができるというよさがあるのです。

学校現場では、相手の考えに耳を傾けるということをお大切にしていきたいと考えています。その際、「どちらがよいか」とジャッジするのではなく、「そのような考え方、感じ方があるのだ」ということを知り、認め、そこから新しい考えを導き出していくこと、多面的な見方ができる力を育てていきます。

12月行事予定

1	火	避難訓練	▲
2	水	B時程4時間 安全指導・指導	▲
3	木	アンプティサッカー出前授業(4年)	▲
4	金	教育相談週間終	▲
5	土	土曜授業日 相談日 道徳授業地区公開講座①	▲
6	日	遊び場開放午後○(1時～4時)	
7	月	全校朝会	▲
8	火	社会科見学(4年)	▲
9	水	B時程4時間	▲
10	木		▲
11	金	読書週間終	▲
12	土		
13	日		
14	月	全校朝会 クラブ活動	▲
15	火		
16	水	B時程5時間	▲
17	木		▲
18	金		▲
19	土	土曜授業日 相談日 道徳授業地区公開講座②	▲
20	日		
21	月	全校朝会	▲
22	火		▲
23	水	B時程5時間	▲
24	木	給食終	▲
25	金	B時程4時間 終業式	▲
26	土	冬季休業日始	
27	日		
28	月		
29	火		
30	水		
31	木		

▲は放課後遊びなし、○はあります。

12月の遊び場開放 12/6 PM1～4

▶12月4日(金)～12月10日(木) 人権週間

▶12月10日(木) 世界人権宣言が採択された日 人権デー

12月の生活指導目標

「学校をきれいにしましょう」

生活指導部 窪木 亜希子

2学期も終わりに近づいてきました。年末に向けて、ご家庭でも大掃除の計画を立て始める頃でしょうか。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度までみんなで毎日行っていた「掃除の時間」がありませんでした。(掃除は放課後少人数で行っています。)その為、子供たちは自分の荷物や身の回りの整理整頓を、その都度こまめに行う必要がありました。そのことが、「教室を汚さないように気を付けて生活する」ことを見直すよい機会となったかもしれません。その習慣が定着するよう今後も指導していきます。